

玄武岩の玄さんが堅いテーマも柔らかく解説

豊岡のここには目じゃ！⑩

環境経済戦略って？



何で豊岡にはコウノトリ
がたくさんいるの？

コウノトリの野生復帰を
目指して、農薬や化学肥
料に頼らず、コウノトリの餌
となる生きものが生息しやす
い田んぼづくりに取り組んで
きたからじゃ。この農法を
「コウノトリ育む農法」とい
うんじゃよ。

私たちも学校給食でコウ
ノトリ育む農法で作られ

たお米を食べているけど、こ
れって環境に良いことなの？

いい質問じゃ！ このお
米を「食べてくれる人」



▲田んぼで餌をついばむコウノトリ

「買ってくれる人」が増えるこ
とで、このお米を作る人が増
えて、コウノトリも住める環
境が広がっていくんじゃ。

このお米って高く売れる
んだよね？

この農法で作ること
で、環境が良くなるだけでな
く、お米が高く売れるんじや。
つまり、作っている人に経済
的なメリットもあるんじや。こ
のような関係を農業に限らず
いろいろな分野に広げようと
するのが、豊岡が力を入れて
いる環境経済戦略なんじゃ。

農業以外にはどんなこと
があるの？

太陽電池を作る、コウノ
トリ育む農法で作られた
お米を使ったスイーツを作る、
木質ペレットを作るなどとい
った事業があるの。

学校にあるペレットス
トープも環境に良いの？



▲ペレットストーブで暖を取る
子どもたち

ペレットストーブの燃料
は木じやろ。木が燃える
ときに出る二酸化炭素は、木
が成長するときに吸収したも
んだしけえ、燃やしても二酸
化炭素は増えんのじや。それ
に、学校で使われているペ
レットは、豊岡産じやから、海
外から輸入している石油より、
運搬に燃料を使わんで済む。
さらに、豊岡でペレットを作
っている人たちにお金を支払
われるんじやよ。

環境と経済のどちらも良
くなる環境経済がもっと
広がってほしいな。